



学校だより

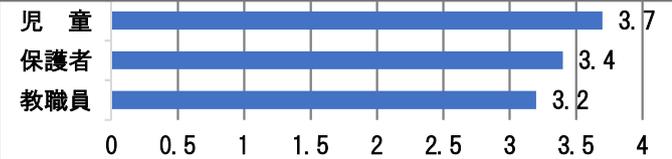
滑川市立南部小学校

「学校・家庭生活の調査結果について（後期）」 校長 ***

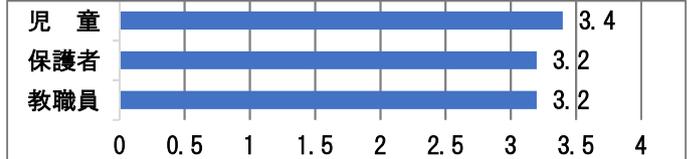
保護者ならびに地域の皆様にご協力いただいた標記の調査結果（後期）を報告します。

そう思う（4点） だいたいそう思う（3点） あまり思わない（2点） そう思わない（1点）

1 子供は、学校の仲間と楽しく学校生活を送っている。



2 子供は、家で学校や友達の話をしている。



3 子供は、家や地域で進んで挨拶をしている。



4 子供は、よく運動したり外で遊んだりしている。



5 子供は進んで読書に取り組んでいる。



6 子供は、メディアの使用時間の約束を守っている。



7 子供は、早寝・早起き・朝ご飯が習慣化されている。



8 子供は、宿題や持ち物の忘れ物をしない。



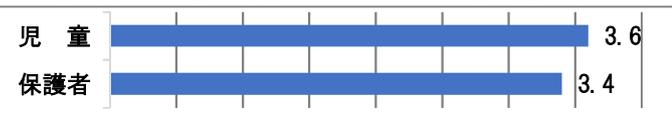
9 子供は、相手や場面に応じた言葉遣いをしている。



10 子供は家庭学習に意欲的に取り組んでいる。



11 子供は、家庭で団らんの時間等、家族と過ごしている。



12 教職員は、分かりやすい授業づくりや基礎学力の向上に努めている。



13 教職員は、子供の悩みや相談に対して親身になって応じている。



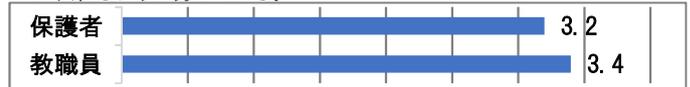
14 教職員は、子供の間違っただ行動を適切に指導している。



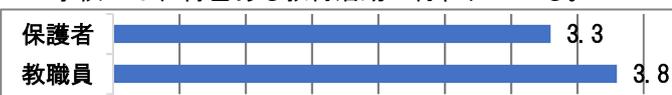
15 教職員は、保護者からの問い合わせや要望等に適切に対応している。



16 学校は、学校の教育目標や育てたい子供像等、学校の教育方針が保護者に伝わるように努めている。



17 学校では、特色ある教育活動が行われている。



18 学校では、施設・設備を整備・管理し、安全面に配慮している。



19 学校では、学校だより・学年だより・ホームページ等で、学校の様子が分かるように努めている。



※ 回答数：児童 147、保護者 115、教職員 11

〈子供に関すること〉

- ・児童のアンケート結果を見ると、全体的に前期と同じか、わずかな下降傾向にあります。しかし、設問1、14については3.7ポイント、設問12、13については3.6ポイントと高い数値となり、児童が安心して学校生活を送っている様子が伺えます。学校では、定期的に教育相談をしたりアンケートを実施したりして、児童の様子を継続的に見守っています。加えて、スクールカウンセラーとの面談やタブレットでの相談フォームを取り入れるなど、様々な事情を抱える児童に柔軟に対応しています。引き続き、学校が児童にとって「安心して活動に取り組める場所」であるよう、努めていきます。
- ・設問5、6について、児童だけでなく保護者も低い数値となりました。学校でも「子供に身に付けてほしい力」として挙げている項目（アクションプラン）です。今後、PTAと協力しながら、これらの課題に取り組んでいくことが必要であると捉えています。本校は学習参観への保護者出席率が高いので、そのタイミングで考える機会を設けることができないか、検討していきたいと考えています。

〈教職員・学校に関すること〉

- ・設問14について、低い数値ではないものの保護者の「あまり思わない」「そう思わない」の割合が前期よりもやや多くなりました。アンケート内の自由記述欄に、教職員の指導に対する厳しいご指摘（子供への接し方）を頂戴しました。ご指摘を真摯に受け止め、日々の指導の見直しや改善に生かしていきます。また、励ましの言葉も頂戴しました。いずれも、ありがとうございました。
児童間のトラブルについては「解決する」ことが一番よいと考えていますが、発達段階や状況等を総合的に判断して子供たち同士が「納得する」という形の着地点を保護者にご理解いただくこともあります。学校としては、まず「今後も南部小学校区を拠点に生活していく子供たち（コミュニティ）」を大事にして指導に当たっていきたくと考えています。子供のことで心配なことがあれば、ぜひ気軽に学校へご相談ください。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- ・設問18においても、保護者の「あまり思わない」「そう思わない」の割合が前期よりもやや多くなりました。本来は学校で気付かなければならないところですが、気付いていない点があるかもしれません。ぜひ、お気づきの点がありましたら、学校までご連絡いただけますと助かります。それを定期的に学校で行っている「安全点検」等に生かしたり、修繕や市への要望等につなげたりしていきたいと考えています。

〈学校運営協議会でいただいたご意見〉

- ・保護者からいただいた厳しい指摘（子供への接し方）について、学校は改善が必要である。場所や場面、言葉を丁寧に選び、子供が不安に感じないよう（安心して学べるよう）な環境づくりに努めてほしい。
- ・今後、一層の幼・保・小の「接続」を丁寧にしていけばどうか。それぞれの指導や環境の独立性を尊重するだけでなく、お互いの良さ（発達段階や育ち、できること、できないこと、言葉かけ、表現方法、働きかけ等）を学び合える機会をつくってみるのもよい。
- ・保護者時代を振り返ると、子供は担任が大好きだった。今回の意見で「学校は子供に丁寧に対応している」という内容（自由記述）もあるので、今後、一層の教育環境の充実に努めてほしい。

今月号は「教育活動に関するアンケート」（後期）の結果と学校運営協議会（本校の学校運営や教育活動のご意見を協議いただく組織）でいただいたご意見を報告させていただきました。

後期は、前期よりも回答件数が44件増えました。学校の教育活動に関心を寄せていただき、ありがとうございます。いただいたご意見は真摯に受け止め、子供たちにとって、安心・安全な学校になるよう努めていきます。今後とも、学校教育目標「心をついに、いきいきと～かしこく、やさしく、たくましく～」の実現に向けて教職員一同、力を合わせて教育活動の改善を行っていきます。保護者の皆様には、お忙しい中でのアンケートへのご協力、ありがとうございました。



～ 南部っ子のがんばり紹介 ～

滑川市書き初め大会

金賞	2年	**	**									
銀賞	4年	**	**	4年	**	**	4年	**	**	3年	**	**
	2年	**	**	2年	**	**						
銅賞	5年	**	**	5年	**	**	4年	**	**	3年	**	**
	3年	**	**									

富山県小中高校生書初大会

推選	2年	**	**									
特選	4年	**	**	4年	**	**	4年	**	**	3年	**	**
	2年	**	**	2年	**	**						

